

館報

おみ

9月号
No.690

2024.9.25 (令和6年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲本町地区に「コミュニティ広場」オープン (9月8日撮影) 関連記事は6面

秋の分館
お祭り・例大祭

分館で行われている秋祭りや例大祭の一部を紹介します。

各地で獅子舞など地域の伝統文化が披露されました。

九月十五日
大神宮秋の例大祭

本来ですと、場所は村マレットゴルフ場の近くにある大神宮の予定でしたが、雨天のため、上井堀公民館でお祭りが行われました。獅子舞の披露に加え、今年には紙芝居、子どもと童謡の会による合唱があり、応援



▲「ふるさと」を合唱

「フレ！フレ！上井堀」は、一丸となって自分の地区を応援し、大変な盛り上がりを見せていました。

九月二十二日
市野川神社秋季例大祭

市野川神社の舞台では、聖民芸保存会による村の無形文化財に指定されている市野川神楽が披露され「おんべ」が上演されました。



▲市野川神社舞台での奉納獅子舞

九月二十二日
太神宮社秋祭り

下桑山では、天ノ原池の近くにある太神社の参道に屋台が出店し、舞台では、多くの観衆のもとで奉納獅子舞が披露されました。



▲太神宮舞台での奉納獅子舞

村施設合同の
避難訓練などを実施

火災などの有事に対応するため、地域交流センターや学校などの施設は、消防計画により、避難訓練等が義務付けられています。

八月二十八日、公民館、役場、麻績小学校、麻績保育園などが合同で避難・防災訓練を実施しました。

各施設で地震から火災が発生したという想定で避難訓練などを実施し、その後麻績小学校校庭で合同の初期消火訓練を実施しました。

使い方を知っていても、いざ実践となると手順を誤

り、火元へ消火器を持っていく前にピンを抜いて運んでしまうなど、消防署の職員に指導される場面もありました。

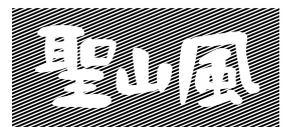
地域交流センターへお越しの際には、有事にどこへ避難すればよいのかと、あらかじめ確認しておいてください。



▲急がず焦らず校庭へ避難



▲水消火器による初期消火訓練



四十代後半の私は、老後のため、国が進めるiDeCo（以下「イデコ」とNISA（以下「ニーサ」という）を始めた。

詳しくは触れないが、それぞれ特徴があり、イデコは、六十歳まで受け取ることでできないが、年末調整や確定申告で所得控除がとれるため、所得税と住民税が安くなる。ニーサは、保有限度額千八百万円まで非課税で、いつでも出し入れ可能であるが、所得控除などはとれない。共通点として、元本割れの恐れがあり、確定申告で損益通算などではない。

そもそも長期運用が基本で、短期的な株価は気にせず、つみたて設定して忘れらるくらいでよい。だが、私は毎日確認して、それが日課となってしまうが。

なお、投資は自己責任で行うものであり、私は決して勧めてはいないことを付け加えておきます。

麻績保育園運動会

園児の願いから今年度はオリンピックのような企画をし、九月二十一日に麻績保育園で「オミニック」をテーマに、運動会が開催されました。

選手入場からはじまり、国旗掲揚を行い、リレーや体操の他に、肩車で玉入れ（競技名は「砲丸投げ」といった親子で協力する種目がありました）。

最後に、園児全員に金メダルが渡され、うれしくて親に向けてメダルを掲げる園児や、本当のオリンピックのようにメダルをかじる園児もいました。



▲みんなそろって入場行進



▲金メダルもらったよ



▲かごの中へ玉をポイッ！



▲がんばれー！



▲「てえしゃば」の原稿

「明治町通信てえしゃば」は昭和五十一年（一九七六年）から刊行されている分館の広報誌。A4版の両面印刷、昨年度からカラー印刷になっている。創刊当初

明治町区「てえしゃば」

分館にある珍しいお宝やここにしかないものを紹介します。地元の分館で紹介して欲しいものがありましたらご一報ください。

分館のお宝発見



▲「てえしゃば」第一号

は隔月刊であったが、現在は年二回発行。内容は役員あいさつ、分館旅行の報告、お祭りの予定、育成会活動の報告など、さまざまで、分館の活動を写真と共に区民の皆さんに伝えている。

発行責任者は分館長、編集は明治町分館総務部となっている。

なお、創刊号から百号までは、「明治町百年史」に掲載されている。

五年ぶりの敬老会

新型コロナウイルス感染症が流行していた影響で、



▲長寿を願って、バンザイ！



▲皆さんお元気で

五年ぶりとなる村主催の敬老会が、九月十八日に麻績村体育館で開催されました。七十五歳以上が対象で約九十人が出席し、参加者は久しぶりに顔を合わせて、近況などの会話を楽しんでいました。

おみスクール パートナーズ便り

筑北中学校で 本の読み語り

筑北中学校の朝読書の時間に、九月四日から来年二月二十六日までの全七回予定で、本の読みがたりが始まりました。

第一回の九月四日は、読みがたりボランティアの清水ジェニーさん（明治町）が担当され、電子黒板を使って英語の本を紹介しました。英文の難しい部分は訳して、他は生徒たちが本の内容を読みとるといった本格的な内容でした。



▲本の読みがたりも ICT 化

令和六年度 公民館クラブ・ サークルのご紹介

麻績村公民館には公民館が主催する教室や講座のほかに、クラブやサークル（以下、「クラブなど」という）があり、独自で活動しています。

主に地域交流センターを中心に活動しており、文化祭の芸能発表や作品展示の他にも、村や地域の行事な

どもにも協力しているクラブなどもあります。

休日や余暇を同じ趣味の皆さんと一緒に活動してはどうでしょうか。

左記のクラブなどに興味や見学を希望される方は、麻績村公民館（☎六七二二四〇）までご連絡ください。

クラブなどの状況により、活動日が実際と異なる場合もありますので、ご了承ください。

クラブ名称	活動日
マクラメ	毎月第1・3水曜日
紙芝居の会	毎月第1木曜日
遊部 ※ボードゲーム	毎月第2木曜日
囲碁クラブ	不定期
茶道クラブ	月2回土曜日
太極拳クラブ	毎週月曜日
アルプホルンを吹く会	毎週土曜日
麻の実短歌会	月1回（曜日不定期）
麻績村童謡を歌う会	毎月第3水曜日
麻績写真クラブ虹	毎月第4水曜日
麻績山野草おだまきの会	不定期
将棋クラブ	月1回土曜日
愈（いよ）の会	不定期
民謡民舞善の会	月1回不定期
日曜画家倶楽部	毎月第2・4日曜日
麻績ヨーガ	毎週水曜日
文月会 ※カラオケサークル	不定期
麻績IC ※ダンス	不定期
日舞利久会	月2回土曜日
麻績村の歴史を学ぶ会	不定期
哲士義塾 空手道場	毎週水曜日
OMI ZUMBA	毎週月・日曜日
マジック・南京玉すだれサークル	毎月2回
習字しよう会	月1回不定期
ピアノを楽しむ会	毎週月・木・金曜日
卓球同好会1447	毎週火・木曜日（時期により変動）

麻績保育園カレー会

保育園すずらん組（四歳児）が春に植えたジャガイモと、ひまわり組（五歳児）が植えたニンジン収穫し、八月二十九日に麻績保育園でカレー会が開かれました。

前日にたんぼ組（二歳児）とチュリリップ組（三歳児）がジャガイモを洗い、当日すずらん組が皮をむいて、ひまわり組が保育士付き添いでカレーサイズに切っていました。

カレーができあがり、食べる前にひまわり組の司会



▲じゃがいもの皮むきに夢中

進行で「カレーライスの手遊び」を全員で披露し、招待者と一緒においしそうに食べていました。



▲気を付けて切ってね！



▲自分たちで作ったカレーは「おいしいねっ」

元気通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

九月十二日・十三日、六年生は東京へ修学旅行に行ってきました。東京自体が初めての子どもも多く、事前学習の頃から、ワクワクが止まらない子どもたちの姿が見られました。

東京に入ると、見たことのないような高いビル、おしゃれな建造物、歴史的な建物に目を輝かせていました。

国会議事堂では、衆議員の方が様々な部屋をまわつ



▲みんなで記念撮影（浅草寺）

その他にも、「ライオンキング」の観劇や風鈴の絵付け体験、東京タワーの展望台見学など、政治の中心・文化の中心である東京を、五感を使って堪能していました。二日間の集団生活を通して、仲間の新たな良さを発見できたのも二日間の大きな学びであったと思います。



▲風鈴の絵付け体験中

て、丁寧に説明してくださいました。ニュースや教科書でしか見たことのない衆議院議場に入ると、思わず「わあ!」という声が出るほど、圧倒されました。

筑北中学校

PTA作業を行って

一年 宮下 結愛

今日は初めてPTA作業をしました。いつもより登校時間が早く、朝日が山から顔を出して校庭を照らしました。

私は家の人たちが刈った草を集めました。全体的に草が固くてずっしりしていました。二年生の先輩たちとせつせとかき集めました。最後に軽トラックの荷台に草を載せるとき、見た目は少ないけれど、重すぎてびつくりしました。荷台もあつという間に草でいっぱいになってしまいました。



▲集めた草でいっぱい

来年もあると思うので、がんばりたいです。

筑北祭にむけて

二年 黒岩 千隼

ぼくは、筑北祭に向けて、がんばりたいことが二つあります。

一つ目は学年発表です。職場体験を終えたときからクラスみんなで発表内容を考えたり、たくさん練習をしたりしました。なので、本番も練習したことを出し切り、聞いている人たちに伝わる発表をしたいです。

二つ目はソーラン節演舞です。今年は全校の人数が少ないですが、今まで練習してきたことを意識して、一人ひとりが全力で踊り、最高の演舞にしたいです。



▲学年発表の準備は万端



▲筑北祭成功に向けて討論

高校見学に行つて

三年 田中 真志

ぼくは三年生になったので、高校に進学するために、高校見学や学校説明会、体験入学に参加しています。そこで最近、志望校の高校に見学に行きました。高校の教頭先生と一対一で、校舎の案内や学校の説明をしていただきました。

学校での良いところや、生徒会活動の様子、授業の様子を説明していただきました。ぼくはこの説明をお聞きして、より一層この高校に進学したい気持ちが高まりました。自分の行きたい高校に行けるよう、今後は生活習慣を受験に向けて整えていきたいと思えます。

本町地区に新しい 広場ができました

本町地区の若者定住促進住宅の近くに村が「コミュニティ広場」を整備し、九月八日に利用開始のオープニングセレモニー（テープカットの写真は一面）が行われました。

広場は、約八六〇㎡の芝生で、休憩場所と水飲み場があり、だれでも利用できます。

セレモニー終了後、さっそく子どもたちは、家から持ってきたボールでサッカーをして楽しんでいました。



▲待ち望んだ広場がオープン

相撲と麻績の事跡

(その十)

相撲豆辞典 (その二)

○ちゃんこ鍋

「ちゃんこ」は「おっさん」などの意味だという。相撲部屋の料理人をいう。ちゃんこ鍋は力士たちが稽古後に食べる相撲部屋独特の料理で、魚・肉・野菜・きのこ・豆腐などを、ごった煮し、栄養価が高いちり鍋料理。

「相撲部屋直伝ちゃんこ」と名づけて、名物として、徳島県つるぎ町では、町の活性化に取り組んでいる。

○相撲甚句 (じんく)

甚句は地の句の意味で俗謡（民間のはやりうた）のこと。越後の「甚九」という人が謡い始めたという。力士が土俵で唱い流行した。相撲甚句のほか、越後名古屋・博多甚句などが有名である。

相撲の始祖神でもある「建御名方命」を祀る諏訪大社本宮では、令和五年九月十五日、華やかな化粧まわしを纏った力士や神官が輪になって踊りながら「十五夜相撲甚句」を奉唱した。大相撲秋巡業松本場所では、松本出身の本木山が相撲甚句に飛び入り参加し、賑わした。

○親方

部屋と弟子を持つ年寄り。

○年寄り

力士や行司が現役を引退し、年寄株を取得し、年寄りの名称を継ぐ、日本相撲協会評議員。角界に大きな功績のあった力士に与える「二代年寄」もある。

○年寄株

引退した力士が、年寄を襲名するための名跡。

○役力士

小結以上の番付にある力士。

○相撲奉行

武家時代に興行の際、臨時に置かれた奉行があった。

○鉄砲柱

力士が突つ張りなどの稽古に使う背丈ほどの太い柱をいう。

年末には、注連縄を飾り稽古の無事を祈る。

○蒙御免

(ごめんこうむる)

番付中央の最上段に肉太で大書されている。

江戸時代相撲興行に当たって、幕府寺社（相撲）奉行的の許可を得たという証が始まりという。

この三字を欠くと、番付の体裁を失うので、現在でも書かれている。

場所前のテレビ報道では、昇給力士が筆字で大書された番付表を掲げた姿が映される。

○土俵の土

大相撲（年六場所）の土俵の土は、埼玉県産の「荒木田土」で築かれている。

広辞苑によれば「東京都

荒川沿岸の荒木田原に産した土。また沖積地や水田にある粘着力の強い土の呼称」と記されている。

力士の体重に耐え、水持ちの良いのが特徴だという。

令和六年六月二十七日完成した木曾町総合トレーニングセンターの相撲稽古場土俵二面には「荒木田土」と開田高原の「赤土」が使われていたという。

○力士が裸の訳

土俵の神に武器を所持していないことを証明するためだという。

女性は、着ぐるみ相撲で、勝負よりイベントの盛り上げ役を担っている。

○立禪 (たてみつ)

相撲のまわしで、前腹から股を通り、後の結びまでの部分。後の部分を後立禪。前を前立禪または前袋という。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

本の森だより

み館
お図書館

ファーストブック 絵本贈呈の会開催

令和五年度生まれの赤ちゃん八名に絵本をプレゼントする会を、九月十八日に行いました。

今年はおみ図書館開館二十周年を記念して、六月に行われたセカンドブック同様、プレゼント対象の絵本を入れ替えました。

塚原村長は「読書は集中力、語彙力、想像力など様々な能力を高めてくれるものです。子育てで忙しいとは思いますが、絵本を通して親子の絆を深めてもらえた



▲たくさん絵本を読んでね

ら」と話していました。

絵本のプレゼントの後、お話をしてくださったのは桐澤久美さん。色彩がはつきりしていて赤ちゃんを惹きつける「しましまぐるぐる」をはじめ、子どもから大人まで想像力をかきたてる「もこもこもこ」など、手遊びを交えながら数冊を紹介してくださいました。

また、選書は「体を作るのに質の良い食材を摂り入れるのと同じで、本も質の良いものを読んで欲しい。質が良いというのには、絵がすばらしい・言葉が美しい



▲読み方にもひと工夫
親子で釘付けでした

・子どもの心に真つすぐ響く本を選んで欲しい」と教えていただきました。皆さんがたくさんの方に良い絵本に出会えるよう、当館もお手伝いさせていただきます。いつでもお声がけください。

稲葉真莉絵画作品展開催

今年で三回目となる稲葉真莉絵さんの油彩画の作品展が開催されました。

今年のは野の草花の絵画をはじめ、麻績村の風景や山彩やかな空が描かれた作品がとても印象的でした。

日向地区から見渡す山々が多く描かれ、四季折々の異なった空の様子も絶妙な色で表現されていました。その時の視点や作品への想いが現れているように感じました。



▲優しい印象、緑ある風景



▲繊細に描かれた山と空

稲葉さんが今までに描いてこられた画集も併せて展示され、来館された皆さんは一つ一つの作品をじっくりと鑑賞されていました。

麻績小学校図書館だより

お月見に、ちよつと豆知識

中秋の名月には、月の神様に豊作への祈りと感謝の気持ちを含めてお供えをします。月の神様って？

六年生に読んだ、日本の神話シリーズ第一巻『くのはじまり』には、こんな風に書かれていました

「伊邪那岐命が水辺で体を清めるうちに、次々と神が生まれ、左目を洗うと天照大御神が、右目を洗うと月読命(ツクヨミノミコト)が、鼻を洗うと須佐之男命が誕生した。」
月の神様・月読命は、天

照大御神の弟。「ツキ」で運を呼び込む神とも言われたそうです。秋の夜長にのんびりと、自然と対話し和歌を詠んでみても素敵ですね(季語の本、購入しました。『プレバト』で人気の夏木いつき先生の俳句塾もあります)。



学研

本リサイクル市のお知らせ

文化祭で行います

日時：十一月二日(土)

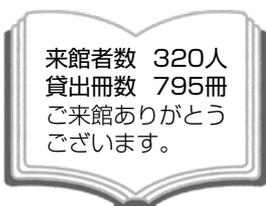
十一月三日(日)

場所：地域交流センター

三階ロビー

持ち帰り用の袋はご持参ください。

8月の図書館



来館者数 320人
貸出冊数 795冊
ご来館ありがとうございます。



令和六年度
 中信地域合同障がい者
 就職面接会開催

ハローワーク松本では、障がいをお持ちの皆さんと、そのような皆さんを採用予定のある事業主の方々を対象とした就職説明会を開催します。

参加をご希望の方は、当日直接会場へお出かけください。
 日時 十月十七日(木)
 午後一時から四時まで

会場
 ホテルブエナビスタ
 三階グランデ
 お問い合わせ先
 ハローワーク松本
 職業紹介第二部門
 ☎二七〇〇一一一
 部門コード 四二井

公民館行事の予定

●文化祭

日時：①一日目

十一月二日(土)

午前九時から
 午後八時まで

②二日目

十一月三日(日)

午前九時から
 午後四時まで

場所：地域交流センター
 備考：詳細は、後日折込みチラシを予定しております。

●第七回麻績学級

日時：十一月十四日(木)

午後二時から

場所：地域交流センター
 内容：ニュースポーツ
 「ダンボールク」

●信州大学医学講座

日時：十一月十六日(土)

午前十時から

場所：地域交流センター
 講師：信州大学医学部
 保健学科教授

矢崎正英さん
 内容：認知症について

●スマホ講習会(全五回)

第一回：十一月十一日(月)

「意外に便利なマイナポータルの活用法」

第二回：十一月十八日(月)

「健康管理に活用できるアプリを紹介」

第三回：十一月二十五日(月)

「ハザードマップで地域のリスクに備える」

第四回：十二月二日(月)

「デジタルリテラシーで詐欺やニセ投資から身を守る」

第五回：十二月九日(月)

「スマートフォン活用相談会」

時間：全五回とも午後一時三十分から二時三十分を予定

場所：地域交流センター

●第六回ふれすぽ

日時：十一月十七日(日)

午前九時三十分から

場所：麻績村体育館
 講師：麻績村
 スポーツ推進員
 内容：フラバールバレ

持ち物：運動できる服装と靴、飲み物

「麻績かるた」より
 「麻績村トリビア」

④桑関の滝で身清めし
 仏道(ほとけみち)



▲落差20mほどの滝



▲岩にうがたれた穴に仏様が

桑関地区の滝を探して車を走らせると「麻績村広いなあ」とつくづく思います。途中道は筑北村領域にも入るので、ちよつと不安にもなります。

旧大岡村(現長野市)との境ほど近い所にあるのが「穴水(あなみず)の滝」です。水量はあまり多くないのですが、かつてはここで滝行をする人もいたのだとか、近くの岩壁には穴がいくつも開けられ石仏が収められています。

そして滝の傍らには日蓮聖人を祀(まつ)る「穴清水祖師堂」が。聖山にいくつもあるという信仰の場の一つのようにです。



ご冥福を祈る

- 齋藤 俊一 72歳 高
- 瀧澤 勝人 88歳 野田沢
- 清水 一男 90歳 女 沢
- 柳澤 梢 96歳 叶里高畑